

| No. | 特に良いと思う点 | |
|-----|--------------|---|
| 1 | タイトル | 利用者の意欲につなげる仕組みを数々創出している |
| | 内容 | 書道サークルでは、書道展に出品して賞をとることで、利用者がやりがいにつなげている。折り紙サークルでは、利用者が作ったカレンダーを近隣の病院に持って行き、待合室に掲示してもらっている。手工芸品をバザーに出店している。売り上げは東日本大震災の義捐金として募金をしている。園芸サークルでは、野菜を育てて、自らが作ったものを昼食で提供している。職員主体ではなく、利用者が主人公であるということを事業計画に掲げ、実践に努めている。 |
| 2 | タイトル | 運営改善への取り組みが着実に進められている |
| | 内容 | 今年度の新たな取り組みとして、地域の商店を目的地とし、公共交通機関を利用し食事やおやつを食べにいくという「お出かけサークル」を始めている。また、以前実施したケアマネアンケートにて、当センターの情報提供が不十分であるという意見を受け、対策を考え、目標達成度評価表に、全利用者の毎月の様子を入力して各居宅介護支援事業所に届けている。このことで、ケアマネジャーへの情報提供を増やし、ケアマネジャーとの連携を密にすることができた。運営改善への取り組みが着実に進められている。 |
| 3 | タイトル | ボランティアの方々に日頃の活動への感謝の思いを込めて、利用者の手作り作品をプレゼントし、双方の喜びにつなげている |
| | 内容 | ボランティア担当を3名配置している。ボランティアとの意見交換のための「ボランティアノート」を使用し、継続して活動していただくために、疑問や不満を少しでも解消していただくよう配慮している。また日頃の活動への感謝の思いを込めて、手工芸サークルの利用者が作ったキーホルダーを差し上げている。利用者から「いつもありがと」と直接手渡しすることで、ボランティアの方々も大変喜ばれた。地域住民でもあるボランティアの方々と一緒に進める事業所運営に努めている。 |
| No. | さらなる改善が望まれる点 | |
| 1 | タイトル | 介護技術の向上に向けた研修の充実が望まれる |
| | 内容 | 利用者のADL(日常生活動作)が自立している方も多く、日頃のサービス現場では高度な介護技術を必要としない。しかし、重度化した利用者の受け入れの際に対応できない職員もでてしまうおそれがあり、またこれまでの介護職としての勤務歴の長短で、その差が大きくなってしまっていることもある。そのため、介護職として必要な三大介護(食事・排泄・入浴)における介護技術力の向上に向けた研修の充実が望まれる。 |
| 2 | タイトル | 活用できるマニュアル類の整備が望まれる |
| | 内容 | 職員アンケートでは「事業所業務の標準化」に関して、一般職員の自己評価が低いという結果がでた。一方、非常勤職員は全職員の80%で、他事業所の異動も含めて前年度の退職者数は33%である。「全体会議」にて、定期的に必要手順書の読み合わせも行ない、必要時に見直し・変更しているが、業務水準の標準化に向け、各種マニュアル・手順書の内容を定期的に見直し、必要なマニュアルを整えていくことが望まれる。 |
| 3 | タイトル | 残業ゼロを目指した取り組みが望まれる |
| | 内容 | 残業時間の増加を受け、現在の業務の見直しを行い、無駄な残業のカットに取り組んでいる。10月より早出をなくすなどして月13時間程度の残業カットを見込んでいる。また、サークル活動での業務を残業を使って行っていたが、利用者と一緒にアルバムを作り、勤務時間内に処理している。しかし、職員アンケートでは、改善点として「残業」を取り上げていた職員が少なくなかった。今後も残業ゼロを目指した取り組みが望まれる。 |